

事務局報告

事務局を引き継いでから最初の学術大会である第28回断層映像研究会が、平成11年11月4日(木)、5日(金)の両日に前田知穂大会長のもとで京都市サーチパークにおいて開催された。今回は前田大会長の特別の企画で、コンピュータ支援画像診断学会(CADM)および日本コンピュータ外科学会(CAS)との共同開催となり、その合同特別講演が西村恒彦教授(京都府立医科大学)により「21世紀の画像診断－機能・代謝画像から分子画像へ－」の題で行われた。さらに合同シンポジウム「コンピュータが医療を変える－次世代の映像診断から治療まで－」が鳥脇純一郎氏(名古屋大学)と辻隆之氏(東京大学)の両座長のもとで開かれた。この他に盛英三助教授(東海大学)の特別講演「放射光の医学応用」と、教育講演6題、フィルムリーディングセッション(8症例)、一般演題14題の発表があった。大会期間中に世話人会、総会が開かれ、以下のような事項について討議され、承認された。

断層映像研究会世話人会議事要旨

日時：平成11年11月4日(木) 12:00～13:00

場所：京都市サーチパーク、サイエンスセンタービル1号館4階ルームA会議室

出席：荒川昭彦、大島 統男、金子昌生、西条隆夫、杉村和朗、高橋睦正、田中良明、中尾宣夫、楢林勇、西谷弘、林邦昭、平木祥夫、平松慶博、福田国彦、福田寛、藤井恭一、本田憲業、前田知穂、増田康治、町田喜久雄、町田徹、宗近宏次、吉田祥二

議事：

1. 平成10年度の事業報告、決算報告、監査報告(藤井恭一、鈴木謙三両監事の署名捺印済み)が行われ、別紙のように承認された。
2. 平成12年度事業計画について審議され、編集委員会からの提案通り研究会雑誌は年4回発行(うち1回は大会抄録号を兼ねる)することになった。また雑誌の通巻は、これまで会計年度(4月から翌年の3月まで)で区切っていたのを、暦年を通じて同一になるようにした。したがって平成12年の巻号はVol.27, No.1(3月号)からNo.4(12月号)となる。次いで雑誌増刊に伴う予算措置についての討議が行われたが、当面は他の諸経費を切りつめることと予備費から捻出することで、会費を値上げしないこととし、平成12年度予算案が別紙のように承認された。
3. 規約の改定について討議され、事務局移管に伴い規約第2条の事務局の住所を浜松医科大学放射線医学教室から日本大学医学部放射線医学教室への変更と、現在すでに施行されてる世話人増員の件で、同

第8条の役員構成のうち、世話人の数を20名程度から70名程度に改訂する案について討議され、承認された。

4. 世話人名簿については、本誌Vol.26, No.2, p.133に掲載されているが、その後会員異動があったので見直すことになり、人選については事務局に一任された。また監事については、鈴木謙三監事より辞任の申し出があったので、代わりに福田国彦教授(東京慈恵医科大学)が選任され承認された。

5. 特別会員に金子昌生先生、多田信平先生、前田知穂先生、松林隆先生、森田陸司先生が推薦され承認された。

6. 次回の第29回研究会は、高橋睦正教授(熊本大学医学部放射線医学教室)の大会長のもとで、平成12年11月17日(金)、18日(土)に熊本市・国際交流会館で開催されることになった。

7. 次々期(平成13年)の大会長に平木祥夫教授(岡山大学医学部放射線医学教室)が推薦され承認された。

断層映像研究会総会議事要旨

日時：平成11年11月4日(木) 13:05～13:30

場所：京都市サーチパーク、サイエンスセンタービル4号館地下1階バズホール

議事：前田知穂大会長の議長のもとで議事が進められ、上述の世話人会報告が事務局担当の田中良明(日本大学)より行われ、いずれも原案通り承認された。

今回の大会を通じて感じたことは、若手の参加者がこれまでよりもやや少なかった気がする点である。これに関して一部の世話人から、大会の演題募集要項が分かりにくかったとの指摘があった。今後は本誌の中で「大会案内」、「演題募集」の項をもう少し目立つようにするなど、何らかの工夫が必要であるかも知れない。いずれにしても断層映像研究会本来の使命である、断層映像に関する撮影技術から臨床診断に至るまでの幅広い学問分野を、一会場で発表、討議するというユニークさをこれまで以上に広報、周知させる必要があろう。これにより若手を中心に関心を持つ者が増え、会員数が増えて本研究会がより活発になるのではなからうか。類似の研究会、学会が数多くある中で、CT、MRI、超音波検査、核医学(SPECT)など、断層映像に関する共通のモダリティーを通じて互いに議論できることは、本研究会の大きな利点であり特徴でもある。会員各自がこのことを自覚して周囲の者に働きかけ、本研究会を何とか今まで以上に活気のある会にしたいものと念じている。

(事務局：田中良明)

平成11年度断層映像研究会 世話人会・総会 資料

1号議案：平成10年度事業及び決算報告

平成10年度 事業報告

1. 総会 1回 平成10年11月13日 浜松市
2. 第27回断層映像研究会学術大会
平成10年11月13日(金)、14日(土)
学術大会長 金子昌生
(浜松医科大学放射線医学講座)浜松市

3. 世話人会 1回 平成10年11月13日 浜松市
4. 編集委員会 1回 平成10年11月12日 浜松市
5. 研究会雑誌の発行
第24巻1・2号(H10.12.31)発行
第25巻1・2号(H11. 3.31)発行

平成10年度収支決算報告書

(自平成10年4月1日 至平成11年3月31日)

1.収入の部			2.支出の部			
項 目	予 算 額	収 入 額	項 目	予 算 額	支 出 額	備 考
会 費	2,700,000	2,108,000	報 償 費	50,000	0	事務手当
利 子	3,000	3,381	賃 金	100,000	0	アルバイト料
前年度繰越	1,300,000	2,274,978	旅 費	1,000,000	491,630	委員会等
編集委員会 残金		45,427	需 要 費	150,000	48,356	事務用品費
			役 務 費	300,000	512,040	会誌発送等、通信費
			使用貸借料	50,000	0	コピー、会議室等
			負担金及び 補 助 金	2,000,000	1,709,281	研究会2回 会誌2冊
			予 備 費	353,000	0	
			次年度繰越		1,670,479	
合 計	4,003,000	4,431,786		4,003,000	4,431,786	

次年度繰越内訳

郵便貯金	956,850円
現金	713,629円
合 計	1,670,479円

2号議案：平成10年度監査結果報告

鈴木謙三、藤井恭一監事より報告

線医学教室(田中良明教授)に移管されることになった。

3号議案：将来計画実行委員会報告将来計画実行委員会 1回 平成10年11月12日 浜松
検討内容報告

1. 平成12年(2000年)度の学術大会長は、熊本大学医学部放射線医学教室高橋睦正教授に決定された。
2. 事務局は平成11年度(H11.4.1)より浜松医科大学放射線医学教室(金子昌生教授)から、日本大学医学部放射

4号議案：平成12年度事業計画および予算案

平成12年度 事業計画(案)

- | | |
|--------------|----|
| 1. 総会 | 1回 |
| 2. 学術発表会 | 1回 |
| 3. 世話人会 | 1回 |
| 4. 編集委員会 | 随時 |
| 5. 機関誌の発行 | 4回 |
| 6. 将来計画実行委員会 | 随時 |

平成12年度収支予算書(案)

1.収入の部

項 目	予 算 案	備 考
1. 会費	2,700,000	6,000×450人
2. 利子	2,000	
3. 前年度より繰越金	700,000	
計	3,402,000	

2.支出の部

項 目	予 算 案	備 考
1. 報償金	100,000	事務手当
2. 賃金	150,000	アルバイト料
3. 旅費及び会合費	250,000	委員会等
4. 需要費	200,000	印刷費、事務用品等
5. 役務費	250,000	切手代、通信費
6. 使用貸借料	100,000	コピー、会議室等
7. 負担金及び補助金	2,000,000	研究会1回、会誌4冊
8. 予備費	352,000	
計	3,402,000	

5号議案：規約の改定について

第2条

(現行)

この会は当分の間事務局を浜松市半田町3600浜松医科大学放射線医学教室内におく。

(改訂)

この会は当分の間事務局を東京都板橋区大谷口上町30-1日本大学医学部放射線医学教室内におく。

第8条 この会に次の役員を置く。

(現行)

会長1名 代表世話人1名 世話人20名程度 監事2名

(改訂)

会長1名 代表世話人1名 世話人70名程度 監事2名**6号議案：研究会役員の承認**

特別会員の承認

世話人及び監事の承認

7号議案：次期学術大会長の確認

第29回研究会学術大会長

熊本大学医学部放射線医学教室

高橋 睦正 教授

8号議案：次々期大会長の推薦**9号議案：その他**